サニタリエースOD・SD補高#5/補高#8取扱説明書

このたびはサニタリエースOD・SD補高#5/補高#8をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前にかならずよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠警告

製品は絶対に分解、改造しないこと
強度が落ち、破損やけがの原因になります。

使用前には各部を点検し、確実に設置できているか、ぐらつきがないか確認したうえで使用すること

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネージャーなど専門家に相談すること

[据置式の場合]
補高タイプのとき、特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときは、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること
転倒やけがの原因になります。

本体、便座がヒビ割れした場合は使用しないこと
破損し、けがの原因となります。

⚠注意

便座の縁に腰をかけると便座が浮くことがあるので注意すること

体重が100kg以上の方は使用しないこと
製品が破損し、けがの原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えないこと
破損し、けがの原因になります。

上蓋の上には座らないこと
破損し、転倒やけがの原因になります。

便座を上げて補高スペーサーの上に直接座って使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

上蓋にもたれたりよりかからないこと
破損したり転倒し、けがの原因になります。

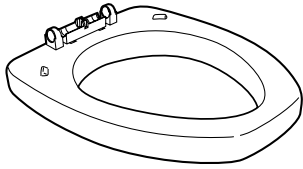
上蓋につかまって立ち座りしないこと
上蓋が破損したり、本体が動き、転倒やけがの原因になります。

直射日光に当てたり、ストーブなど火気を近づけないこと
プラスチックが劣化したり、火災や変形の原因になります。

踏み台として使用したり、子供・幼児を遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと

上蓋・便座を開閉時に手で無理やりおさえたり、押し上げたり、乱暴に扱わないこと
ダンパーが破損したり、正しく作動しなくなります。

■付属品

●補高＃5／＃8

補高スペーサー＃5／＃8　1個

■仕様

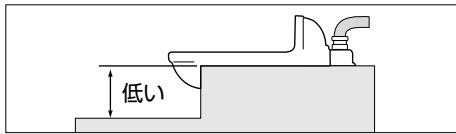
品名	補高スペーサー＃5	補高スペーサー＃8
材質	ポリエチレン	
寸法	幅37×奥行45×高さ11cm	幅37×奥行45×高さ14cm
重量	約0.7kg	約0.9kg

※補高スペーサーのみの仕様

取りつけかた

補高スペーサーの取りつけ目安

●トイレの段差が低い場合は、段差の高さに応じて、補高スペーサーが取りつけられます。
（一般的な段差　約28cm）

OD両用式

●膝関節症やリウマチの方などが使われる場合は、補高スペーサーを取りつけて便座高を高くすると、立ち座りが楽になります。

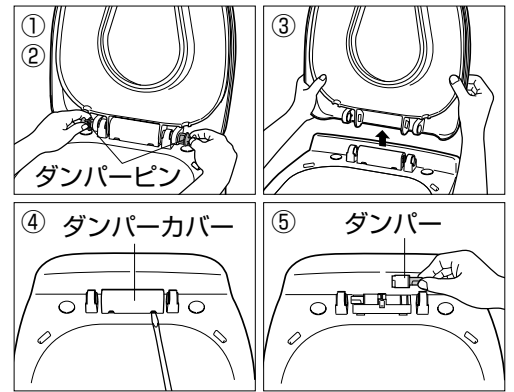
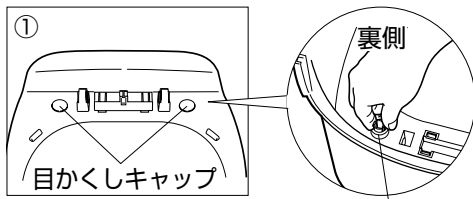
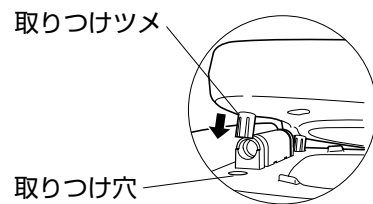
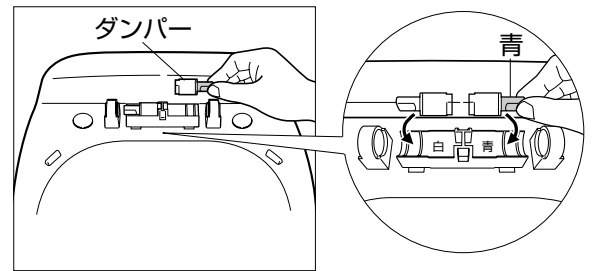
OD両用式

OD据置式

SD据置式

補高スペーサーを取りつける

次の手順で補高スペーサーを取りつけてください。

1 上蓋・便座・ダンパーなどを取り外す。
①上蓋と便座を上げる。
②ダンパーピン（左右を）引き抜く。
③上蓋と便座を取り外す。
④ダンパーカバーの穴にドライバーなどを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
⑤ダンパーを取り外す。

2 目かくしキャップを取り外し、補高スペーサーを取りつける。
①裏側から目かくしキャップのツメをつまんで押し込み、目かくしキャップを外す。
②補高スペーサーの取りつけツメを取りつけ穴に差し込んで、補高スペーサーを取りつける。

3 補高スペーサーに、上蓋・便座・ダンパーなどを取りつける。
1の⑤から逆の手順で行ってください。
※その時、ダンパーは、軸の色と刻印（青・白）をあわせてセットしてください。
※お手入れの際に補高スペーサーを取り外す時は裏側から補高スペーサーの取りつけツメをつまんで押し込み、補高スペーサーを浮かせて外すこと。むりやり引き抜くとツメが折れる恐れがあります。

OD・SD据置式本体の床固定方法

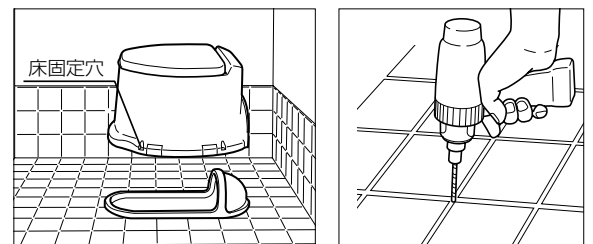
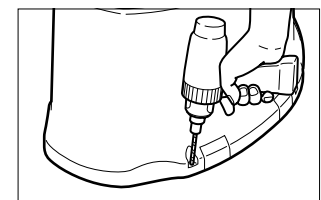
●本体が動かないように、床面にネジで固定できます。

⚠注意 **補高タイプのとき、特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときは、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること**

1 固定に使うネジ4本を準備します。

床が木の場合	→	M6（首下長さ50mmまで）の木ネジを準備してください。
床がコンクリートあるいはタイル貼りの場合	→	M6（首下長さ50mmまで）のコンクリート用ネジ（アンカーボルトやプラグなど）を準備してください。

2 本体を仮置きし、固定穴の位置を決めます。
①本体下部の開口部にある方を、和式便器のふくらみ（キンカクシ）にかぶせ、安定する位置に仮置きします。

②床固定穴の中心部に合わせて床に印をつけます。（4か所）
※床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。
必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴を開けるようにしてください。

3 下穴を開け、ネジで固定します。
・下穴の深さは50mmまでにしてください。
・下穴の大きさ、およびネジの固定方法は、準備したネジに合わせて行ってください。
※下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからネジ締めしてください。
※強く締めすぎると、本体を破損することがあります。

お手入れの方法

1 普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 少しひどい汚れには

補高スペーサーは、本体から取り外すことができます。汚れがひどくなった時は、〈P.3〉「補高スペーサーを取り付ける」の手順に従い取り外してください。

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等の使用は避けること
※酸性洗剤・アルカリ洗剤・シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因となることがあります。